



統計スポット情報

No. 3

9. 6. 30 福井県総務部情報政策課

賃金 2.9%増、所定外労働時間は 1.6%増

平成8年毎月勤労統計調査地方調査結果によると、福井県の8年における調査産業計(事業所規模30人以上)の平均月間現金給与総額は、361,770円、前年比2.9%増となった。また、消費者物価が前年比0.8%下落したため、現金給与総額実質賃金は、前年比で3.7%増となった。

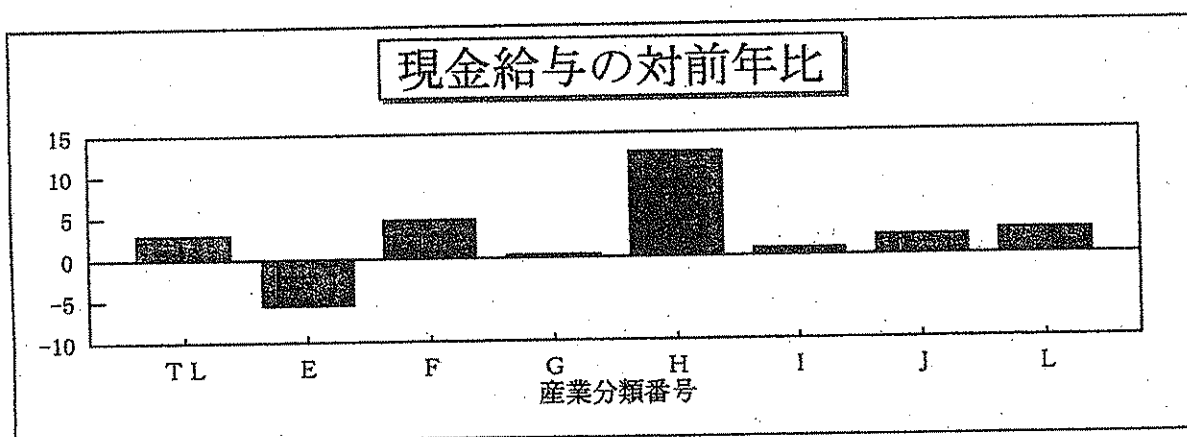
内訳をみると、きまって支給する給与(基本給、超過勤務手当等)は1.7%増の277,430円、特別に支払われた給与(賞与等)は5.3%増の84,340円となった。

産業別では、所定内給与で前年比が大きく減少した建設業が、現金給与総額でもめだつた減少をみせている。(表1)

表1 産業別賃金の動き(30人以上)

(単位:円、%)

産業分類番号	産業	現金給与総額	前年比	きまって支給する給与	前年比	特別に支払われた給与	前年比
TL	調査産業計	361,770	2.9	277,430	1.7	84,340	5.3
E	建設業	401,627	-5.5	317,559	-7.4	84,068	14.0
F	製造業	335,457	4.6	259,073	1.4	76,383	20.9
G	電気・ガス・熱・水道業	558,805	0.3	400,419	1.0	158,386	-2.3
H	運輸・通信業	420,223	12.6	319,987	8.7	100,236	20.9
I	卸売・小売業、飲食店	273,207	0.8	226,022	-0.7	47,185	7.2
J	金融・保険業	415,719	2.3	301,941	-2.5	113,778	0.6
L	サービス業	394,251	2.9	295,132	4.9	99,119	-12.1



所定外労働時間は、調査産業計で10.3時間、前年比1.6%増となり、増加の傾向にある。これを景気の先行指標とされる製造業についてみると、12.0時間で前年比2.4%増となった。

労働時間について全国平均と比較すると、総実労働時間で3.8時間、所定内労働時間で5.6時間長く、所定外労働時間では1.8時間短くなっている。



統計で働く姿を見つめよう

平成9年就業構造基本調査

平成9年10月1日